



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 128,698 | 14.2 | 6,785 | 41.4 | 7,649 | 35.3 | 4,492 | 1.9 |
| 23年3月期第3四半期 | 112,687 | 24.4 | 4,797 | 88.3 | 5,651 | 92.3 | 4,407 | 156.4 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,710百万円(△17.5%) 23年3月期第3四半期 4,498百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 108.89 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 106.84 | — |

(注) 平成23年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、平成22年10月1日に効力が発生した株式分割(普通株式1株につき100株の割合)が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の期中平均株式数により算出しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 121,732 | 32,786 | 26.3 |
| 23年3月期 | 116,822 | 30,035 | 25.4 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 32,059百万円 23年3月期 29,669百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 29.00 | 29.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 29.00 | 29.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 179,000 | 10.2 | 8,200 | 4.4 | 9,000 | 1.7 | 5,950 | 0.3 | 144.22 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変動を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (アントケアホールディングス株式会社)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 24年3月期3Q | 41,259,500株 | 23年3月期 | 41,259,500株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 24年3月期3Q | 2,800株 | 23年3月期 | 2,800株 |
|----------|--------|--------|--------|

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期3Q | 41,256,700株 | 23年3月期3Q | 41,256,700株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

(注) 当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成23年3月期第3四半期の期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 4 |
| 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により混乱していた状況から緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州金融不安に端を発する世界経済の下振れ懸念、急激な円高の進行など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、平成24年度の診療報酬改定が2回連続のプラス改定の見通しとなったことから、医療機関の経営状況の厳しさは和らぐことが期待されます。また、医療機関における効率性、災害時における医療提供体制の整備、高度医療への対応が求められており、設備投資の必要性は今後も拡大すると考えられます。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、大型病院のリモデルや医療消耗品の販売シェアの拡大が進むとともに、管理体制の強化・グループ連携によるコスト削減が進み、効率化を図ることができました。また、メーカー各社における商品力の強化に注力するとともに、薬局や老人ホーム運営などの周辺事業領域においても、順調に拡大することができました。さらに、次の成長へ向けた新たな投資として、小規模多機能施設の構築や老人ホーム・グループホームを全国で53施設展開するアントケアグループの株式を取得し、連結子会社とするなど、新たな取り組みを始めることができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は128,698,726千円（前年同四半期連結累計期間比14.2%増）、営業利益は6,785,069千円（前年同四半期連結累計期間比41.4%増）、経常利益は7,649,202千円（前年同四半期連結累計期間比35.3%増）、四半期純利益は4,492,245千円（前年同四半期連結累計期間比1.9%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、地域中核病院等の大型案件をはじめ、プロジェクト案件が順調に完了いたしました。また、メーカー系子会社の製品販売も順調に推移するとともに、製品メンテナンスの件数も拡大いたしました。さらに、グループショールームのリニューアルや無影灯のグッドデザイン賞「金賞」受賞など、品質に加え商品力の強化にも注力いたしました。

この結果、売上高は41,049,112千円（前年同四半期連結累計期間比11.6%増）、セグメント利益（営業利益）は3,719,601千円（前年同四半期連結累計期間比36.2%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、医療機器・診療材料等の売上高が引き続き増加したことや経営効率化が進んだことから、利益率が改善いたしました。また、院内SPDにおいても大型案件を複数受注するなどシェアの拡大も順調に進みました。

この結果、売上高は67,217,363千円（前年同四半期連結累計期間比12.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,413,188千円（前年同四半期連結累計期間比35.3%増）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム運営事業における既存7施設の入居者が1,211名（入居率92.6%・12月末）と安定的に推移いたしました。また、食事提供サービス事業におきましても、順調に受託件数を拡大するとともに、国立循環器病研究センターと共同開発した減塩弁当「国循弁当」の販売など新たな取り組みを始めることができました。さらに、12月27日に全国で有料老人ホームやグループホームなど53施設を展開するアントケアグループの株式を取得し、子会社化いたしました。

この結果、売上高は8,396,808千円（前年同四半期連結累計期間比45.8%増）、セグメント利益（営業利益）は922,560千円（前年同四半期連結累計期間比27.9%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、医薬卸との仕入価格交渉は厳しい状況が続いておりますが、処方箋の枚数が順調に推移するとともに、ジェネリック薬品使用量の増加による利益率改善や指導料などの加算も計画通り実現することができました。また、薬局3店舗の買収に加え、新規出店も進みました。なお、株式会社仙台調剤において震災の影響により前期算入されなかった3月分の業績を加味しております。

この結果、売上高は11,245,417千円（前年同四半期連結累計期間比15.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,264,281千円（前年同四半期連結累計期間比46.6%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業の高度画像診断や手術などの2次診療の増加等により順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は790,024千円（前年同四半期連結累計期間比10.8%増）、セグメント利益（営業利益）は100,371千円（前年同四半期連結累計期間比17.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は121,732,986千円となり、前連結会計年度末と比べて4,910,568千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が5,257,490千円減少した一方、のれんが5,032,101千円、土地が2,223,522千円、商品及び製品が1,584,780千円、建物及び構築物が1,039,092千円増加したこと等によるものであります。

負債は88,946,828千円となり、前連結会計年度末と比べて2,159,789千円増加いたしました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1,536,689千円、1年内返済予定の社債が718,000千円、短期借入金が702,000千円、未払法人税等が560,337千円減少した一方、前受金が3,076,943千円、長期借入金が1,260,429千円、支払手形及び買掛金が1,094,545千円増加したこと等によるものであります。

純資産は32,786,157千円となり、前連結会計年度末と比べて2,750,779千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が1,196,444千円、その他有価証券評価差額金が894,550千円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が4,492,245千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は26.3%（前連結会計年度末比0.9ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては現在精査中であり、平成23年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりませんが、業績予想の修正が必要となった場合には、改めて公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間に新たに株式を取得したことに伴い、アントケアホールディングス株式会社が当社の特定子会社となっております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,767,751 | 17,510,261 |
| 受取手形及び売掛金 | 41,688,719 | 40,741,941 |
| 有価証券 | 25,193 | 33,086 |
| 商品及び製品 | 5,858,595 | 7,443,375 |
| 仕掛品 | 1,284,766 | 2,005,338 |
| 原材料及び貯蔵品 | 901,985 | 984,951 |
| その他 | 6,905,871 | 6,821,592 |
| 貸倒引当金 | △138,141 | △162,500 |
| 流動資産合計 | 79,294,740 | 75,378,046 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,818,860 | 7,857,953 |
| 土地 | 5,892,398 | 8,115,920 |
| 貸与資産（純額） | 57,411 | 50,628 |
| 賃貸不動産（純額） | 9,066,740 | 9,016,140 |
| その他（純額） | 1,261,925 | 1,369,785 |
| 有形固定資産合計 | 23,097,336 | 26,410,428 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,087,177 | 6,119,279 |
| その他 | 470,935 | 474,911 |
| 無形固定資産合計 | 1,558,113 | 6,594,191 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期貸付金 | 7,142,735 | 6,699,934 |
| その他 | 7,766,802 | 8,683,163 |
| 貸倒引当金 | △2,037,311 | △2,032,778 |
| 投資その他の資産合計 | 12,872,226 | 13,350,319 |
| 固定資産合計 | 37,527,677 | 46,354,939 |
| 資産合計 | 116,822,417 | 121,732,986 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 42,604,402 | 43,698,947 |
| 短期借入金 | 2,600,000 | 1,898,000 |
| 未払法人税等 | 1,585,156 | 1,024,818 |
| 賞与引当金 | 1,012,584 | 512,109 |
| 工事損失引当金 | — | 22,768 |
| その他 | 12,919,750 | 13,947,519 |
| 流動負債合計 | 60,721,894 | 61,104,163 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 3,942,000 | 3,597,000 |
| 長期借入金 | 18,461,875 | 19,722,305 |
| 退職給付引当金 | 1,703,372 | 1,900,652 |
| 資産除去債務 | 65,224 | 154,290 |
| その他 | 1,892,671 | 2,468,415 |
| 固定負債合計 | 26,065,145 | 27,842,664 |
| 負債合計 | 86,787,039 | 88,946,828 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,667,081 | 5,667,081 |
| 資本剰余金 | 10,036,491 | 10,036,491 |
| 利益剰余金 | 12,819,619 | 16,112,312 |
| 自己株式 | △1,059 | △1,059 |
| 株主資本合計 | 28,522,132 | 31,814,825 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,160,064 | 265,514 |
| 為替換算調整勘定 | △12,649 | △21,148 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,147,415 | 244,365 |
| 少数株主持分 | 365,829 | 726,965 |
| 純資産合計 | 30,035,378 | 32,786,157 |
| 負債純資産合計 | 116,822,417 | 121,732,986 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 112,687,418 | 128,698,726 |
| 売上原価 | 97,006,345 | 110,177,711 |
| 売上総利益 | 15,681,072 | 18,521,014 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,883,821 | 11,735,944 |
| 営業利益 | 4,797,251 | 6,785,069 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 407,722 | 274,729 |
| 受取配当金 | 36,586 | 34,007 |
| 負ののれん償却額 | 494,338 | 494,338 |
| 持分法による投資利益 | 24,258 | 24,249 |
| その他 | 370,951 | 428,139 |
| 営業外収益合計 | 1,333,856 | 1,255,463 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 336,644 | 287,760 |
| その他 | 142,724 | 103,570 |
| 営業外費用合計 | 479,369 | 391,330 |
| 経常利益 | 5,651,739 | 7,649,202 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5,549 | 12,815 |
| 投資有価証券売却益 | 455 | — |
| 退職給付制度改定益 | 50,981 | 73,587 |
| 負ののれん発生益 | 569 | — |
| 受取和解金 | 28,000 | — |
| その他 | 2,017 | — |
| 特別利益合計 | 87,572 | 86,402 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | — | 1 |
| 投資有価証券評価損 | 42,128 | 2,837 |
| 固定資産売却損 | 21,185 | — |
| 固定資産除却損 | 35,368 | 84,488 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 21,383 | — |
| 事業構造改善費用 | — | 16,288 |
| その他 | 176 | — |
| 特別損失合計 | 120,243 | 103,615 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,619,068 | 7,631,989 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,357,358 | 2,257,760 |
| 法人税等調整額 | △231,852 | 747,979 |
| 法人税等合計 | 1,125,506 | 3,005,740 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,493,562 | 4,626,249 |
| 少数株主利益 | 85,850 | 134,003 |
| 四半期純利益 | 4,407,711 | 4,492,245 |

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,493,562 | 4,626,249 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 22,868 | △894,550 |
| 為替換算調整勘定 | △18,116 | △21,211 |
| その他の包括利益合計 | 4,751 | △915,762 |
| 四半期包括利益 | 4,498,314 | 3,710,487 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,423,324 | 3,589,196 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 74,989 | 121,291 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|--------------|------------------------------------|
| | トータル バック システム 事業 | メディカル サプライ 事業 | ヘルスケア 事業 | 調剤薬局 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 36,776,588 | 59,700,744 | 5,757,305 | 9,739,618 | 111,974,257 | 713,160 | 112,687,418 | — | 112,687,418 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 679,280 | 125,274 | 6,955 | 401 | 811,912 | 8,096 | 820,008 | △820,008 | — |
| 計 | 37,455,869 | 59,826,018 | 5,764,260 | 9,740,020 | 112,786,169 | 721,257 | 113,507,427 | △820,008 | 112,687,418 |
| セグメント利益 | 2,730,430 | 1,044,752 | 721,536 | 862,576 | 5,359,296 | 85,140 | 5,444,436 | △647,185 | 4,797,251 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△647,185千円には、セグメント間取引消去115,271千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△765,485千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社が株式会社札幌メディカルコーポレーション株式を取得いたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,301,278千円です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|--------------|------------------------------------|
| | トータル バック システム 事業 | メディカル サプライ 事業 | ヘルスケア 事業 | 調剤薬局 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 41,049,112 | 67,217,363 | 8,396,808 | 11,245,417 | 127,908,702 | 790,024 | 128,698,726 | — | 128,698,726 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 839,443 | 181,383 | 3,037 | 456 | 1,024,320 | 6,840 | 1,031,161 | △1,031,161 | — |
| 計 | 41,888,555 | 67,398,747 | 8,399,845 | 11,245,874 | 128,933,022 | 796,864 | 129,729,887 | △1,031,161 | 128,698,726 |
| セグメント利益 | 3,719,601 | 1,413,188 | 922,560 | 1,264,281 | 7,319,631 | 100,371 | 7,420,002 | △634,933 | 6,785,069 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△634,933千円には、セグメント間取引消去7,729千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△647,914千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社がアントケアホールディングス株式会社株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象等により「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比ベ資産が13,773,745千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社がアントケアホールディングス株式会社株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「ヘルスケア事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,061,985千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。